

紹介します

春日市の伝統行事

1月は、市内で伝統行事が開催されます。

春日地区の「春日の婿押し」と小倉地区の「嫁ごの尻たたき」。

いずれも、新婚の夫婦を地域で祝う意味合いが込められた、全国的にも珍しい行事です。



春日の婿押し

凍りつくような寒さの中、春日神社前の御池で締め込み姿の男たちが樽を割り、その破片を奪い合う「樽せり」が有名です。

前年に結婚した新郎新婦の祝福や青年の通過儀礼など、いくつもの行事が複合されたものです。

平成7年に国の重要無形民俗文化財に指定され、春日神社の氏子(三期組合)を中心に祭りが継承されています。

日時 1月12日(日)

- 左義長点火 午後7時
- 宿の行事(花婿あいさつなど) 午後7時30分～
※終わり次第、樽せりが開始されます。

場所 春日神社(春日1-110)および若水会館(春日地区公民館)

問い合わせ先 春日地区公民館 ☎(571)4149 📠(571)7921

嫁ごの尻たたき

結婚した夫婦が小倉住吉神社に参拝したとき、待ち受けた子どもたちがワラを巻いた棒で花嫁の尻をたたくという、他に例をみない珍しい祭りです。

花嫁が嫁ぎ先や地域に早くなじむように、子宝に恵まれるようにとの願いが込められています。

今年は、新しくなった小倉住吉神社で、氏子や小倉地区自治会を中心に、2組の夫婦を迎えて開催します。

日時 1月14日(火)

- 左義長点火 午後6時40分
- 嫁ごの尻たたき 午後7時15分～

場所 小倉住吉神社(小倉3-37)

問い合わせ先 小倉地区公民館 ☎(573)8787(☎兼用)

